

# 事業概要票

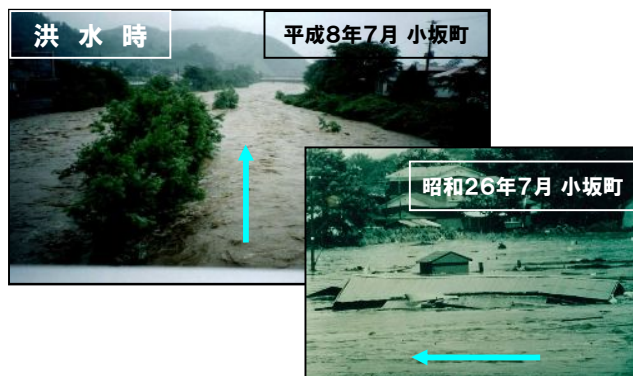
事例NO. 31(平成18年度発表)

事例キーワード

濁水対策・リサイクル

事業名	小坂川総合開発事業 砂子沢ダム
事業担当機関	建設交通部 砂子沢ダム建設事務所
事業期間	昭和54年度～平成22年度
実施場所	小坂町小坂字向地内
事業概要	全体事業費 21,500百万円
	工事概要 ダム本体工事 H=78.5 m W=185.0 m V=283,000 m <sup>3</sup>
	事業の目的 米代川支川の小坂川は、過去に豪雨による河川の氾濫や、渇水による上水道の断水などにより、人々の生活へ大きな影響を与えてきた。 砂子沢ダムは洪水時の流量調整、河川環境の維持や上水道の確保を目的として事業を進めている。
環境配慮の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 濁水処理施設を設置し、工事で発生する濁水のpH調整及び泥分分離を行い、処理水の再利用や、濁水を排水基準内におさめ河川へ放流し、工事中の水質管理を適切に実施している。</li> <li>2. 工事で伐採した枝葉や伐根をチップ化・堆肥化し、植生基材の基盤材として再利用しており、工事に伴う法面は、裸地を避け緑化を実施している。</li> <li>3. 建設ダム猛禽類検討会を設置し、専門家の指導助言を仰ぎながら、対象種の調査を実施している。</li> <li>4. 小坂町主催「アカシアまつり」に広報館を出展し、砂子沢ダムの広報活動の実施や、一般の方々への現場見学会、また環境配慮事業のPRと環境学習の場として小中学生を対象としたダム学習会を実施している。</li> <li>5. 毎年5、6月に受・発注者による現場周辺のクリーンアップを実施している。</li> </ol>
施工後の状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 濁水の処理水は各種基準を満足し、再利用または河川へ放流されている。</li> <li>2. チップ化後に堆肥化して利用した伐採木、根は、良好な緑化基盤材となっている。</li> <li>3. 広報館の出展及び現場見学会・学習会の実施により、砂子沢ダムの環境配慮事業について広くPR出されている。</li> </ol>

## 図面、写真、説明





図面、写真、説明

## ○ダム流域航空写真



## ○濁水処理施設(ダムサイト)



## ○チップ・堆肥化・緑化状況



枝葉・伐根のチップ化



堆肥化



緑化状況(骨材プラント法面)

## ○住民への説明責任 【砂子沢ダムの広報活動】

毎年6月上旬に開かれる小坂町の恒例行事  
「アカシアまつり」に広報館を出展

現場見学会及び  
小中学生を対象にしたダム学習会

にぎわう広報館の様子



この取り組みはH18年度国土  
交通省東北地方整備局技術研  
究発表会で「局長賞」を受賞

展示コーナー



ダムクイズコーナー



実験コーナー(地質・水)



工作コーナー

